

あんようじ 安養寺

曹洞宗で姫路景福寺に関係するお寺です。阿弥陀如来がまつられています。『姫路城史』には天正7年(1579)、羽柴秀吉が御着城を攻めた時、別所村安養寺と民家に火をつけ、この時安養寺のお坊さんたちも御着城に立てこもったと書かれています。



行った日



しらひげじんじや 白髭神社

三木城主の別所长治が、増位山のお坊さんで、黒田官兵衛のおしの安芸法印を攻め、お寺やお堂を焼きました。その時、増位山の守り神だった白髭神社は、佐土字北出口に移されましたが、後に今の大村山のふもと、家具町北側に移され、まつられています。

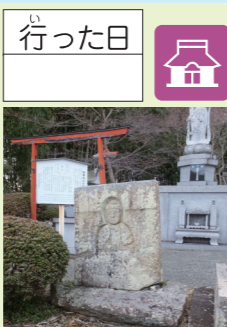


行った日



しんぜんじ せつかんばんつ 真禅寺石棺仏

八王山真禅寺は、臨済宗妙心寺派のお寺で、観世音菩薩がまつられています。本堂前の庭には、高さ108cm、幅87cmの石棺仏が東を向いて立っています。もとは古墳にあった家の形をした石の棺に阿彌陀坐像が彫られているものです。



行った日



ひよしじんじや べっしょ 日吉神社(別所)

もとは山王権現、天照大神、牛頭天王と、薬師如来がまつられていましたが、明治初年の神仏分離により、江州日吉大社から大山咋神を招きました。雨の神さまとして知られています。山道の入り口の常夜灯は、明治20年(1887)に、雨が降るように願って建てられたものです。



行った日



ふくじょうじ 福乗寺

播磨国の真宗三道場の一つとして建てられました。姫路城主の池田輝政が大谷派のお寺を認めなかったため、いったんは但馬国出石町(今の豊岡市出石町)に移っていましたが、元和9年(1623)に今の場所に帰り、福乗寺として建て直されました。



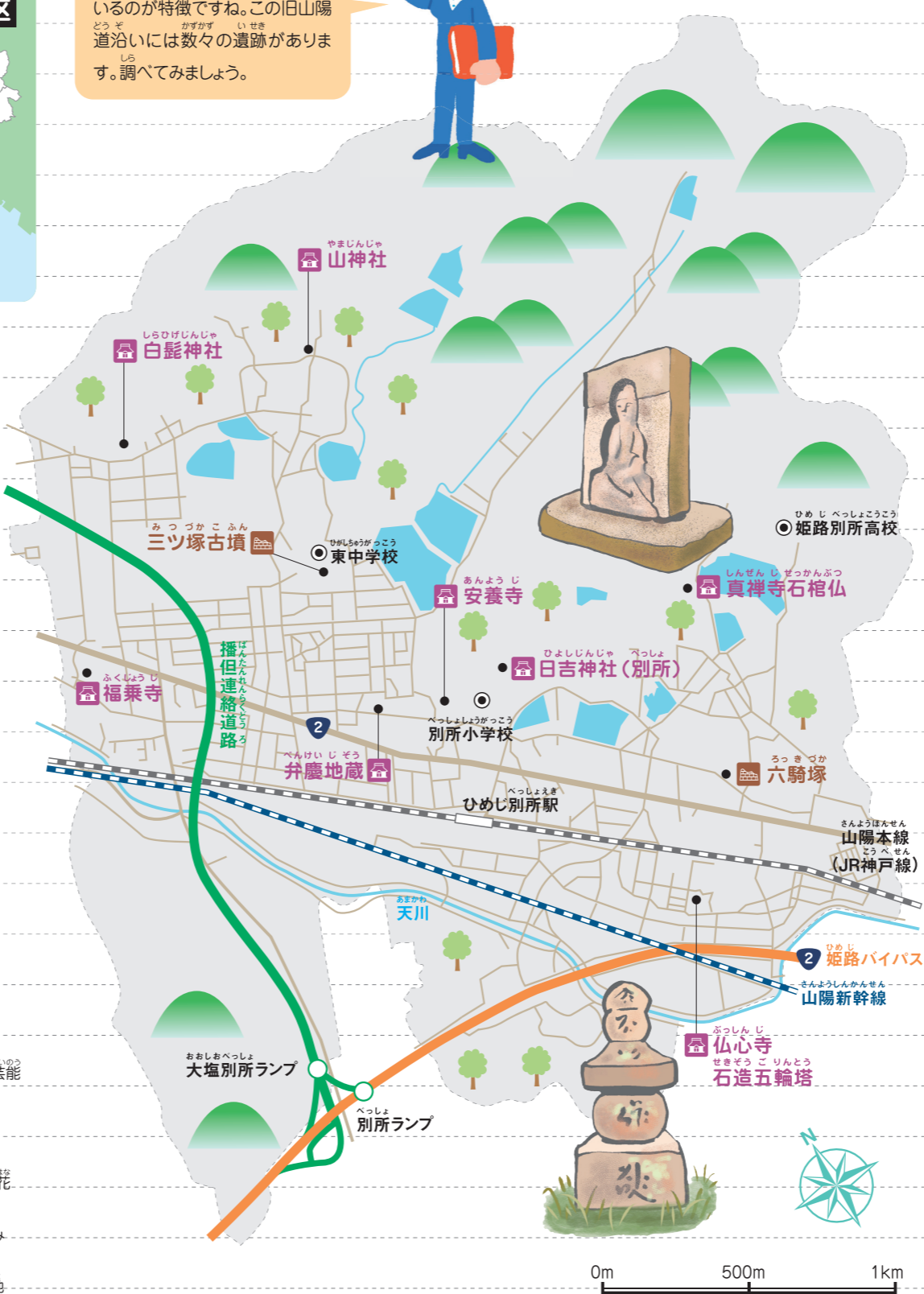
行った日



東西に江戸時代の主要街道の一つ、旧山陽道(西国街道)が通っているのが特徴ですね。この旧山陽道沿いには数々の遺跡があります。調べてみましょう。



べっしょちく 50 別所地区



調べたこと、
わかったことを
書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

ぶっしんじ せきぞうごりんとう 仏心寺 石造五輪塔

凝灰岩でできた塔で、仏心寺の裏の墓地にあります。火輪(下から三番目の石)と風輪(下から四番目の石)の一部が欠け、空輪(一番上の石)は後に修理されました。それぞれの四面に梵字(古代インドの文字)が彫られています。鎌倉時代につくられ、県の重要文化財に指定されています。



行った日



べんけいじぞう 弁慶地蔵

別所を通る昔の山陽道沿いにあり、泡子地蔵ともよばれています。凝灰岩でできた石に、地蔵坐像が彫られています。「天文二年(1535)乙未八月廿六日」などの文字も彫られています。昔は子宝地蔵としておまいりする人が多くいました。



行った日



みつづかこふん 三ツ塚古墳

東中学校の庭に保存されている横穴式石室古墳です。玄室(死者を埋葬する墓室)の長さ4m、高さは2.5mの円墳です。古墳時代の終わりごろ(6世紀)にはこのような小さい古墳がたくさんつくられるようになり、村の有力者やその家族たちが葬られました。



行った日



やまじんじや 山神社

佐土新の奥にある、桶居山の南西のふもとにあり、大山祇神をまつています。境内と玉垣に接して二つの横穴式石室古墳があります。境内にある開村三百年記念碑には、明暦元年(1655)に姫路城主の榊原忠次によって村が開かれたということが彫られています。



行った日



ろっきづか 六騎塚

建武3年(1336)、児島高徳の父・範長と家来たち5人が切腹した場所と伝えられています。北宿を通る昔の山陽道の北側に碑が建てられています。正面に「備後守児嶋君墓」、裏に「嘉永三年庚戌年(1850)五月十九日 佐和田清左衛門範一建之」と彫られています。



行った日

